





## 20世紀最大の巨匠

イングマール・ベルイマンが愛した  
神秘的な島、フォーレ島。  
人生の“風の時間”に停滞する  
映画監督カップルが暮らすように  
旅するひと夏の物語。



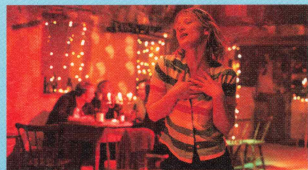
ス ティーヴン・スピルバーグやマーティン・スコセッシなど、今日の巨匠と呼ばれる映画監督たちに、多大な影響を与えたイングマール・ベルイマン。彼の熱狂的な支持者である、『未来よ こんにちは』でベルリン国際映画祭銀熊賞に輝いたミア・ハンセン＝ラブ監督が、ベルイマンの原風景と言われるスウェーデンの島を舞台に最新作を撮影。奇岩が屹立した神秘的な自然や郷愁を誘う風車、ベルイマンが公私共に時を過ごした家屋や縁の品々を、存分に映像に収めた作品を完成させた。

時は現代、主人公は映画監督カップル。クリスは認められてまだ日が浅く、パートナーのトニーは既に名を成している。ミア・ハンセン＝ラブ自身と彼女の元パートナーの実体験を彷彿させる二人だ。演じるのは、『ファントム・スレッド』のヴィッキー・クリープスと、『海の上のピアニスト』のティム・ロス。さらに、クリスの次回作の主人公に、『アリス・イン・ワンダーランド』のミア・ワシコウスカが扮する。

実在した巨星ベルイマンの人生、実際に多くの映画ファンが訪れ聖地となったフォーレ島、その島で展開される監督カップルのフィクション、劇中劇として紡がれるストーリー、そこに落とされるミア・ハンセン＝ラブ本人の影——現実と虚構が入り混じり、その境目が曖昧になっていく。「それこそが映画であり、人生なのでは?」と、観る者に深い味わいを投げかけ、北欧の離島でのときめきが蘇るような体験に連れ出してくれる、稀有なる映像体験。

### STORY

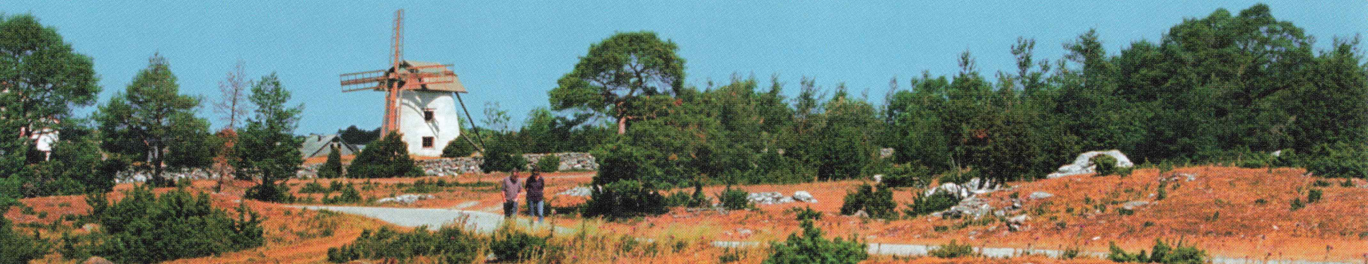
映画監督カップルのクリスとトニーは、アメリカからスウェーデンのフォーレ島へとやって来た。創作活動にも互いの関係にも停滞感を抱いていた二人は、敬愛するベルイマンが数々の傑作を撮ったこの島でひと夏暮らし、インスピレーションを得ようと考えたのだ。やがて島の魔力がクリスに作用し、彼女は自身の“1度目の出会いは早すぎて2度目は遅すぎた”ために実らなかった初恋を投影した脚本を書き始めるのだが——。



 第74回カンヌ国際映画祭コンペティション部門出品作品

### イングマール・ベルイマン (Ernst Ingmar Bergman)


1918～2007年。スウェーデンの映画監督。『第七の封印』(56)でカンヌ国際映画祭審査員特別賞、『野いちご』(57)でベルリン国際映画祭金熊賞、『処女の泉』(60)と『ファニーとアレクサンデル』(82)でアカデミー賞®外国語映画賞を受賞。神、生と死、愛と憎しみをテーマに人間とは何かを問い、映画史に永遠にその名を刻む伝説的存在。



監督・脚本:ミア・ハンセン＝ラブ『未来よ こんにちは』『あの夏の子供たち』『EDEN/エデン』

出演:ヴィッキー・クリープス『ファントム・スレッド』、ティム・ロス『海の上のピアニスト』、ミア・ワシコウスカ『アリス・イン・ワンダーランド』、アンデルシュ・ダニエルセン・リー『パーソナル・ショッパー』

原題: BERGMAN ISLAND | 2021年 | フランス・ベルギー・ドイツ・スウェーデン | 英語 | 113分 | カラー | スコープ | 5.1ch | 日本語字幕: 平井かおり

提供: 木下グループ 配給: キノフィルムズ  後援: スウェーデン大使館 © 2020 CG Cinéma - Neue Bioskop Film - Scope Pictures - Plattform Produktion - Arte France Cinéma



# 4月全国ロードショー!

全国特別鑑賞券¥1,500(税込)好評販売中! (※販売は一部劇場を除く)

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り 全席指定・入替制

シネスイッチ銀座

03(3561)0707  
www.cineswitch.com